



寿都地域マリンビジョン策定(モデル地域)

現状と課題

- ・ホタテガイ・カキ養殖漁業に必要な用地が不足しており、非効率な作業が行われている。また、野天での陸揚げ・出荷作業のため、鳥糞などの混入や直射日光などによる品質低下が生じている。
- ・寿都島牧圏域の流通拠点漁港であるものの、耐震性能が強化された岸壁がないため、大規模災害発生後において、漁業活動が長期間休止するおそれがある。

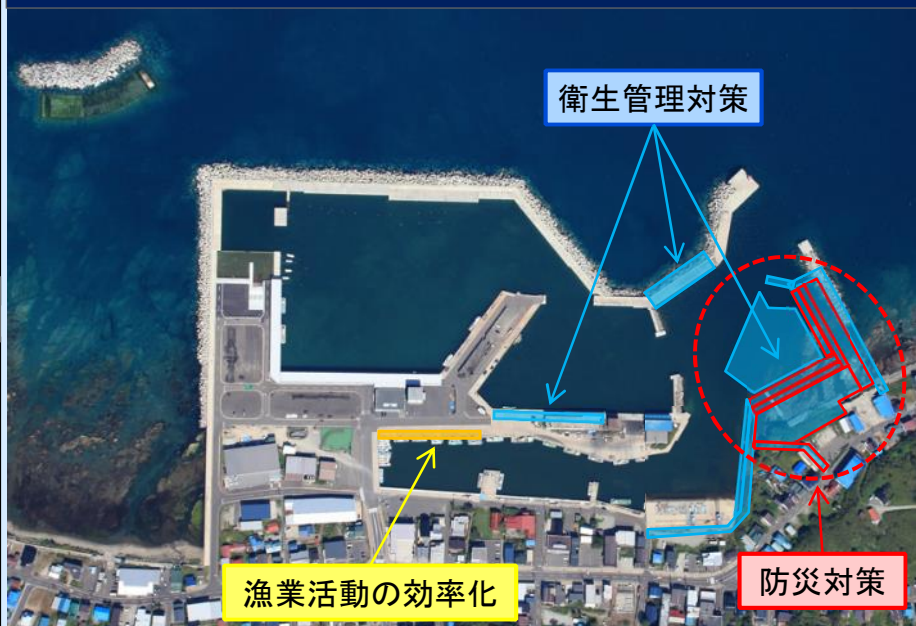
港勢 (R4港勢調査)

登録漁船: 78隻
 利用漁船: 90隻
 (内、外来漁船: 12隻)
 属地陸揚量: 2,165トン
 属地陸揚金額: 6.5億円
 主な魚種: ホッケ、サケ
 組合員数: 57人

◎寿都漁港の役割

- ・ホッケ底建網等の沿岸漁業及びホタテガイ養殖漁業の生産拠点
- ・周辺漁港から水産物が集約される流通拠点

主要対策



主な整備方針

- ・ホタテガイ・カキ養殖漁業の陸揚げ、出荷作業時における衛生管理対策の強化を図るため、屋根付き岸壁、用地などを整備する。また、港内静穏度の向上を図るため、防波堤の嵩上げ改良を行う。
- ・大規模災害発生後の水産業の早期再開のため、耐震性能を強化した岸壁を整備するとともに、岸壁に接続する道路・用地の液状化対策を行う。
- ・物揚場における作業の安全性及び効率性の向上を図るため、エプロン勾配を緩和する改良を行う。

基本事項

全体事業費: 44.6億円
 事業期間: H29~R8

主要な対策①: 衛生管理対策



主要な対策②: 防災対策

